

【保護者向け】児童発達支援評価表

		はい	どちらともいえない	いいえ	コメント
①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	1		
②	職員の配置数や専門性は適切であるか	15			
③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	13	2		
④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	15			・子供のペースに合った支援計画、サポートをして頂いています。
⑤	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	15			
⑥	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	15			
⑦	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	15			
⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	11		
⑨	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15			
⑩	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がされたか	15			
⑪	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	13	2		・どのように対応したら子供にとって分かりやすいか、助言を頂いています。
⑫	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、共通理解ができていくか	15			・行くたびに「最近の様子は？」と聞いて下さるので、話しやすく助言が大変的確で助かっています。
⑬	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	14	1		・療育に行く度に聞いていただいています。
⑭	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	11	2	
⑮	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	15			・話したことが先生方に共有されている。ぼろっと話したことで後で助言を下さったりお電話をいただけたり、とても心強く思います。
⑯	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15			
⑰	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	13	2		
⑱	個人情報の取扱いに十分注意されているか	15			
⑲	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	7	8		
⑳	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	6	9		
㉑	子どもは通所を楽しみにしているか	14	1		・やまとさんで過ごす時間が居心地が良いようで、通所の予定を伝えると喜んでいきます。 ・とても楽しみにしています。 ・いつも楽しみにしています。
㉒	事業所の支援に満足しているか	15			・親子共々、いつも支えて頂きありがとうございます。 ・いつもお世話になりありがとうございます。相談時にはいつも専門的な視点から考えてくださり、気持ちにも寄り添っていただいて、感謝しています。今後ともよろしくお願い致します。 ・いつも真摯に対応いただいています。 ・いつもありがとうございます。子供が職員室に入った時、いつも皆様が暖かく目を向けて下さっている様子をみてとてもありがたいなと感じております。

【保護者向け】放課後等デイサービス評価表

		はい	どちらともいえない	いいえ	コメント
①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	30			
②	職員の配置数や専門性は適切であるか	30			・常に複数名の先生たちに指導していただいているので、子供たちへの配慮がなされている。 ・専門的なアドバイスや活動がある。
③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	29	1		
④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	30			
⑤	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	28	2		
⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	10	17	3	・わかりません ・土曜日しか利用していないので、他の曜日はわかりません。 ・機会がない為、わかりません。
⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	30			
⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	30			・先生方との面談の機会が多いので、課題に対する情報共有が十分になされている。
⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	29	1		
⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	9	18	3	・父母会、ありますか？ ・お祭り等、交流行事に参加できず、すみません。 ・必要がない為。
⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	29	1		
⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	30			・子供の困りごとに対して解決方法を考えてくださり、わかりやすく説明して頂きありがとうございます。
⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	28	2		
⑭	個人情報に十分注意しているか	30			
⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	21	8	1	・日常的に施設を利用している訳ではない為、わかりません。
⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	17	12	1	・利用が月一回のため、不明。
⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	24	6		・いつも土曜日を楽しみにしています。 ・毎回楽しみに通所しています。 ・本人は「普通」と答えていました。・毎回新しい課題に挑戦し、達成感を感じている。
⑱	事業所の支援に満足しているか	25	4	1	・いつもありがとうございます。 ・月二回くらいお世話になればありがたいです。 ・専門的なアドバイスや活動に感謝している。

【事業所職員向け】児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4		規程では、児童一人のスペースとして2.47㎡（児発・放デ）が求められており、やまとでは5㎡確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか	4		規程では5：1（定員10名）であり、達成している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか。	4		フラットであり、エレベーターも完備
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4		職員会議にてヒヤリ・ハットを含め、日々見直し・改善を行っている。
	5	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	1	1月回収、2月集計・職員周知、2月公表。保護者からの評価点が厳しくはないことも有る為、厳しめに受け止めて改善につなげる方向取れると良い
	6	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4		3月に公表
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	3	事業所には資格取得のための学生の実習生、他法人職員の現場実習等の受け入れを行っているが、今後は児童発達支援の現場にも入れる検討する。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4		年間スケジュールにて法人内の研修を定期的に実施。外部の研修についても、業務や任意での参加の機会の提供を実施。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	4		保護者とのケース会議を実施。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	1	ツールを使って実施。
	11	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4		
	12	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4		ケース会議や担当者会議にて確認・共有している。
	13	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4		振り返りを含めプログラム内容も立案している。
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4		項目は固定し、内容に変化を持たせている。季節の行事や児童の現状など踏まえ、様々な活動プログラムを提供している。
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	4		集団での活動を軸に、個別に各児童の特性に合わせて個別で対応している。
	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	3	1	ミーティングを行っている。
17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4		振り返りは口頭と、難しい際は書面でやり取りして、次回の活動等に活かしている。プログラムの内容はどうだったかだけでなく、その日の児童の気になった様子なども振り返りを行っている。	

	18	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4		客観的視点を持って記録を残している。	
	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4		5領域も考慮して計画を作成。プログラム計画も実施。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4		派遣している。	
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4			
	22	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		4		該当児なし。 医療的ケアの必要とする児童の受け入れ態勢なし。
	23	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	1	3		該当児なし。 現在医療的ケアの必要とする児童の受け入れ態勢はないが、受け入れる際は整える。
	24	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4			
	25	小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4			
	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1		自立協（こども部会）へ職員を派遣。連携を図っている。 主催する研修を受けたり、他の児童発達支援事業所の見学へ行っている。
	27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	1		認定こども園と、園庭を借用し活動する際や、避難訓練などで顔を合わせることがある。また園のイベントに声を掛けていただくこともあり、参加したこともある。
	28	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	4			
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			送り迎え時や時間を取って面談などにより共通理解をもつ取り組みをしている。
30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	4			面談などを行い、助言を行っている。	
保護者への説明責任等	31	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			契約時に実施。変更が生じた場合は、その重要度によって重要事項説明書に記載されていることに準じて実施。
	32	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	4			計画作成前の要望や現状等の聞き取り、作成後の計画の説明の機会（面談）を作り説明し、同意を得ている。
	33	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			面談などを行い、助言を行っている。 相談があった際は、一人の職員だけでなく、多職種の職員にも相談の機会を作り、助言や支援を行っている。
	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	1		1回/年のイベントを通して父母間が連携できる機会を提供。
	35	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4			

非常時等の対応	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4		法人で年3回広報誌を発行。その中にやまとの活動を記載。また、SNSを積極的に更新し、子どもの様子を発信している。
	37	個人情報の取扱いに十分注意しているか	4		
	38	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4		児童とのやり取りの際に、写真やカードを使用し、わかりやすいよう努めている。
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	1	法人行事として地域の方々を招いている。事業所単独の行事にも、今後は近隣住民の方もお呼びしたい。
	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	3	1	
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4		2回/年避難・消火訓練、1回/年通報訓練を実施。
	42	事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	4		1回/年実施。
43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	4		医師からの指示書はないが、診断書を受けているか任意。ご家族から話を聞くとともに、年度初めの用紙にて確認は実施。	
44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4		PC内で集約。職員会議で共有。	
45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4		法人にて委員会を設置。委員として参加し、定期的に研修を実施。	
46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	3	1	身体拘束の説明は契約時に実施。必要な際は適切に対応をする。	

【事業所職員向け】放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらともいえない		改善目標、工夫している点など
				いいえ	いいえ	
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4			規程では、児童一人のスペースとして2.47㎡（児発・放デ）が求められており、やまとでは5㎡確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか	4			規程では5：1（定員10名）であり、達成している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4			フラットであり、エレベーターも完備
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3	1		職員会議にてヒヤリ・ハットを含め、日々見直し・改善を行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4			1月回収、2月集計・職員周知、3月公表
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4			3月に公表
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	1		・職員会議にてヒヤリ・ハットを含め、日々見直し・改善を行っている。 ・資格取得のための学生の実習生、他法人職員の現場実習等の受け入れを行っている。 ・今期、実習生だけでなく、AOIの会から外部の職員も見学に来た。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4			・年間スケジュールにて法人内の研修を定期的実施。外部の研修についても、業務や任意での参加の機会の提供を実施。 ・常勤はもちろん、常勤が参加してよかった内容に関して、オンラインの物は非常勤職員にも見てもらうなどした。 ・今後より多くの方が参加しやすいように、しっかりとした場面設定をもしていく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4			保護者とのケース会議を実施。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4			ツールを使って実施。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4			担当者会議にて確認・共有している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	1		・項目は固定し、内容に変化を持たせている。 ・ある程度の固定の枠があり、行事等やおやつ作り、昼食づくりなどを入れ幅を広げている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4			大まかな流れは決めているものの、内容に変化をつけている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	3	1		・児童の特性を考慮して、実施。 ・個人で過ごすことが好きな児童もいるが、集団の場に誘い活動等行う時間も作っている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4			ミーティングを行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	1		送迎後にその日にあったことやご家族から受けた話の共有を実施。できなくても翌日の活動前共有。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	1		客観的視点を持って記録を残している。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4			年二回実施している。

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	4			5領域も考慮して計画を作成。プログラム計画も実施。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4			派遣している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	4			学校の情報は基本的にご家族より得ているが、各学校のHPや送迎時の教員からの引継ぎなどで適宜行っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1		3	・現在利用なし。受け入れの体制はない。 ・ご家族にかかりつけ医や担当医などの確認は行っている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	2		・必要に応じて要請があれば対応する体制はある。 ・個別療育を利用していた児童に関して、個別担当職員から引継ぎを受けたり事前に様子見を実施。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	2		要請があれば対応する体制はある。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1		情報を提供。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1		3	・課外活動として地域の公園へ出かけ、遊具の順番待ちをしたり、一緒の空間で遊んでいる。 ・児童発達支援の子との交流や、障害者入所施設の利用者との関わりは持っている。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	3	1		派遣している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4			・送迎時や計画書更新のケース会議にて話を伺うとともに、必要に応じて実施している。 ・毎回の送迎時にお話をしたり、計画作成前の面談で話をしている。電話等で話をする時もある。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3		1	・必要に応じて実施。 ・面談等を通してご家庭での関わり方の提案等を行っている。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4			契約時に実施。変更が生じた場合は、その重要度によって重要事項説明書に記載されていることに準じて実施。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4			相談があった際は、一人の職員だけでなく、多職種の職員にも相談の機会を作り、助言や支援を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		3	1	父母の会などの名目ではないが、行事（夏祭り）にてご家族も参加できるようにし、職員のみならず保護者同士での連携がもてる機会を提供している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	1		体制整備済み。契約時に苦情受付窓口を説明を行い、周知している。また、苦情を受けた際は対応。苦情報告書にて記録を残している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4			・法人で年3回広報誌を発行。その中にやまとの活動を記載。 ・SNSを積極的に更新し、子どもの様子を発信している。
	35	個人情報に十分注意しているか	4			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4			児童とのやり取りの際に、写真やカードを使用して敷く支援をしており、わかりやすいよう努めている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	2		2	・法人行事として地域の方々を招いている。 ・事業所主催の夏祭りに地域住民を呼ぶなど今度していけたら。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	1	マニュアルは策定しているが、保護者への周知は不足している。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4		2回/年避難・消火訓練、1回/年通報訓練を実施。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4		法人にて委員会を設置。委員として参加し、定期的に研修を実施。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4		身体拘束の説明は契約時に実施。必要な際は適切に対応をする。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	2	2	医師からの指示書はないが、診断書を受けているかご家族から話を聞くとともに、年度初めの用紙にて確認は実施。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4		ヒヤリハット事例があった際には、職員会議で共有している。